

中学校数学科 習熟度別指導のすすめ

福岡市教育センター 学力の向上（算数、数学科教育）
長期研修員 米村 透



一人一人の習熟度に応じたきめ細やかな指導ができる習熟度別指導をはじめてみませんか？



こんなにメリットが
あります



【教員】

- ・生徒の実態に応じた授業を展開できる。
- ・一人一人の実態を把握しやすく、適切なアドバイスをすることができる。

【生徒】

- ・自分のペースで学習できる。
- ・同じ習熟度であるため先生に質問がしやすい。
- ・少人数になることにより授業に集中しやすい。

習熟度別指導を取り入れる際の留意点



報告・連絡・相談

報告・連絡・相談をしっかりとしましょう。管理職や学年の先生方の理解が得られるように、習熟度別指導を行う理由を説明しましょう。

場所の調整

習熟度別指導はコースに別れて学習するため、教室の確保が必要になります。学習室などの空き教室がない場合は、図書室や視聴覚室等の別の教室が使用できないか相談しましょう。

保護者や生徒の理解

なぜ習熟度別指導を取り入れるのか、なぜこのようなコース設定を行うのか等について保護者会や学校だより、学年通信、学年集会などを通して説明します。特に、評価についてはコース編成によって不平等にならないことを、十分理解してもらう必要があります。どのように評価をしていくのか明確にしておきましょう。

指導にあたる教員の共通理解

習熟度別指導をスムーズに実施するためにも教員の共通理解が欠かせません。「いつまでに・何を・誰がするのか」を明確にしておくことが大切です。

習熟度別指導の単元を通した流れ

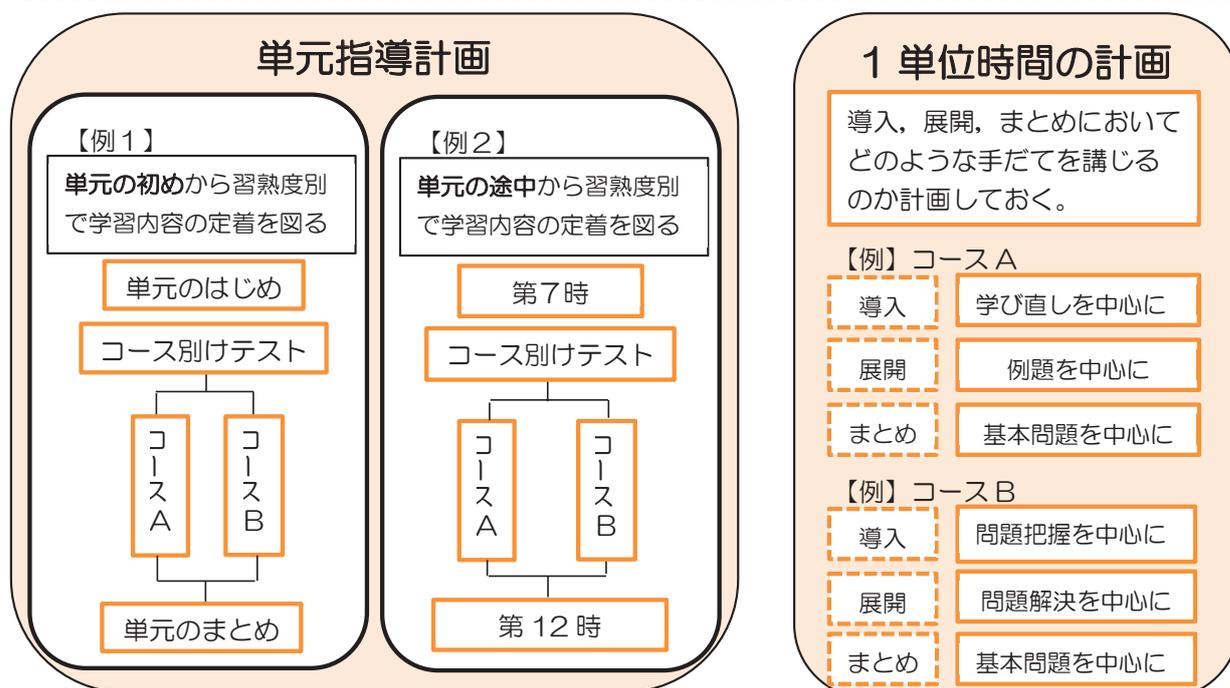
R
実態把握
↓
P
立案
↓
D
実施
↓
C
振り返り
↓
A
改善

① 生徒の学力や学習状況について明確にする

定期考査や単元テスト等から一人一人の学力を把握します。また、生徒にアンケートを実施したり聞き取りを行ったりして学習状況を把握します。

② 習熟度別指導の位置付けやコース別の手だてを明確にする

習熟度別指導についての報告・連絡・相談をしっかりと行います。また、実態把握を基に、単元のどこで習熟度別指導をするのか、コース別の手だてはどうするのかについて計画を立てます。



③ 計画に基づいて習熟度別指導を実施する

計画に基づいて、指導する教員で共通理解を図りながら進めます。

④ 単元指導計画や1単位時間の計画、コース編成等が適切だったか振り返り、課題を明確にする

指導内容（題材の難易度など）、指導方法（学習展開や教具など）、指導形態（ペア学習や班学習など）が、それぞれのコースで適切だったか振り返ります。また、コース選択が適切ではなかった生徒がいなかチェックしましょう。

⑤ 明確にした課題について具体的な解決策を考える

単元計画や改善したこと等はデータとして次年度に残しておき、すべての教員が活用できるようにしておきます。データを共有することでより効果的な指導を行うことができます。

習熟度別指導 Q & A

評価については？

指導内容や指導方法は違って、ねらいを同じにすることで評価規準を揃えます。習熟度別指導を行うときは評価が異なるように注意しましょう。コース別けの際にどのコースを選んでも不利がないこと（評価規準は同じであること）を保護者や生徒に説明しておくことも大切です。また提出物については、評定に加味するものは共通の課題を出します。毎日の宿題を揃える必要はありません。

2コースで別れる場合、人数の比率は？

習熟度の低いコースではあまりに人数が増えると指導が難しくなります。よって習熟度の高いコースと低いコースの生徒の人数の比率は3：1が目安です。
（例えば40人学級であれば30人と10人）

コースごとに手だてを変えるとは？

例えば、習熟度の低いコースでは例題を中心にした授業を行い、既習事項の確認に重点を置きます。習熟度の高いコースでは、練習問題を多く解いたり、複数の解き方を学習したりすること等に重点を置きます。コースごとの手だてとしては、次のような手だてが考えられます。

習熟度の高いコース

- 複数の解き方を考えさせる
- 説明し伝え合う活動を多く取り入れる
- 線分図や表を基に立式させる
- オープンアプローチによる演習問題の工夫をする

習熟度の低いコース

- 数と式領域の補充的な学習を行う
- 既習事項を振り返らせる
- 解き方を限定する
- 適用問題の数値を工夫する
- 計算の過程を詳しく書かせる

ポイントを絞って実施するには？

ポイントを絞って計画的に実施するために、年間計画を作成します。

（作成例）年間指導計画の一部

単元名	上段：配時と主な学習内容、下段：学習形態				
配時	①②③	④⑤	⑥⑦	⑧⑨⑩	⑪⑫
1章 式の計算	式の加法減法	いろいろな多項式の計算	単項式の乗法、除法	文字式の計算	基本のたしかめ 章末問題
	一斉	習熟度別	一斉	習熟度別	習熟度別
配時	①②	③④⑤⑥⑦	⑧⑨⑩⑪	⑫⑬	
2章 連立方程式	連立方程式とその解	連立方程式の解き方	連立方程式の利用	基本のたしかめ 章末問題	
	一斉	習熟度別	一斉	習熟度別	

「明確・共有」で進める習熟度別指導のチェックリスト



R

実態把握

- 生徒がどこでどのようなつまづきが見られるのか授業の様子や小テスト、定期考査などを通して把握していますか。

P

指導計画等の立案

- 習熟度別指導を行う理由がはっきりしていますか。
- 生徒の実態から、どのようなコースに分けるのかがはっきりしていますか。
- 校長先生や学年の先生に習熟度別指導を取り入れることを報告していますか。
- 保護者や生徒への報告の仕方について検討しましたか。
- 教室の確保や机や椅子など教室整備は行いましたか。
- コースは生徒が選択できるようにしていますか。
- コースの名前は生徒に配慮したものになっていますか。
- コース変更のルールは明確になっていますか。
- コースごとの名簿や座席表は作成していますか。
- 提出物などの評価について具体的な打合せを行っていますか。
- 定期考査で出題する内容について打合せを行っていますか。
- 単元指導計画や1単位時間あたりの指導計画を作成して打合せを行っていますか。



D

コース別の手だての実施

- いつまでに教科書の何ページまでを終わらせるなど、進捗について具体的な打合せを行っていますか。
- コースごとに学習内容を変えるなど授業を工夫していますか。
- 授業中の生徒の様子やノートなどから生徒の意欲や定着度について見取っていますか。

C

単元全体の振り返り

- アンケートの実施等、見直すための資料を作成しましたか。
- 単元計画は生徒の実態に合っていましたか。
- 1単位時間あたりの指導計画は生徒にとって適切でしたか。
- コースに応じて指導内容や指導方法の工夫ができていましたか。
- 評価を適切に行うことができましたか。



A

指導計画等の改善

- 見直し(c)に沿って単元指導計画や1単位時間あたりの指導計画等を改善しましたか。
- 今年度の単元計画や1単位時間あたりの計画を次年度に残していますか。

